

能登教区通信

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 篠原 亨栄

このたび、標記通信2017年8月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

教区教化事業のご案内

◆暁天講座◆ 同朋会推進部門

- ・日時 2017年8月1日(火)～5日(土) 午前5時～6時
- ・テーマ つながりを生きる
- ・講師

1日 矢口 泰淳 氏 (第3浜方組 光念寺)	『念仏もうせ』
2日 福谷 祐敬 氏 (第1組 泉福寺)	『仏法聞き難し いますでに聞く』
3日 廣陵 兼充 氏 (第6組 満覚寺)	『地獄、餓鬼、畜生を生きる』
4日 梯 浄円 氏 (第6組 願行寺)	『人と生まれて』
5日 霊崎 秀史 氏 (第4組 長光寺)	『ちからなくしておわるときに』
- ・その他 講義後に、軽食(パンと飲み物)をご用意いたします。
尚、同封のチラシの記載に誤りがありましたので訂正して、お詫びいたします。
※曜日の記載誤記/月～金 → 火～土

◆秋安居◆ 研修部門

- ・日時 2017年9月7日(木)午後1時半～8日(金)午後2時半
- ・講師 大桑 齊 氏(本年度本講講師・大谷大学名誉教授)
- ・講題 『蓮如上人御一代記聞書』試論
- ・対象 有教師
- ・持ち物 『真宗聖典』、安居講本(必ず購入の上ご参加ください)、念珠、間衣・輪袈裟等
- ・参加費 2,000円
- ・備考 教師陞補第2種認定の講座となります。受講中は間衣・輪袈裟を依用下さい。
1日目日程終了後懇親会を予定しております。(場所未定)
せっかくの機会ですので、ぜひともご参加お願いいたします。
ご出席いただける方は、9月4日(月)までに教務所までご連絡ください。

◆教区声明講習会◆ 研修部門

- ・日時 2017年9月19日(火)～20日(水) 両日とも午前9時半から午後3時まで
- ・講師 泉 康夫 氏(本山本廟部堂衆)
- ・内容 報恩講のお荘厳とお勤めについて
- ・持ち物 大谷声明集(上)または真宗大谷派声明集、報恩講勤行集、
宗祖親鸞上人七百五十回御遠忌法要執行の手引き(御遠忌時に全寺院へ配布されたもの)
- ・装束 白服、白足袋、間衣、輪袈裟 (裳附、五条袈裟、中啓、半装束念珠を持参ください)
- ・参加費 2,000円

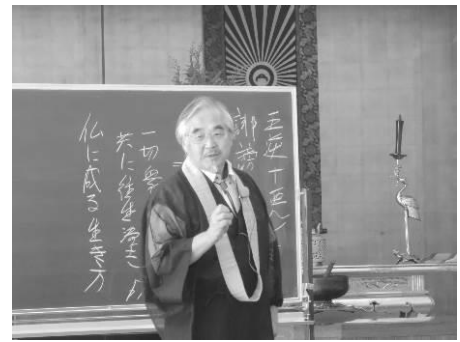
教化事業・その他行事のご報告

◆連続教学講座◆研修部門

第16期連続教学講座の第5回が7月6日(木)、7日(金)に行われた。講師は藤場俊基氏。テキストは『浄土論註』。

今回の研修範囲は「八番問答」の第六問答から最後までで、初日に担当班より試訳・問題点の発題がなされ、二日目に藤場氏より講義をいただいた。第六問答では、五逆十悪の罪が十念によって除かれるという、常識では受け付けることのできない問いかけを前に、曇鸞が真正面から応答している場面で、その論理・要点について例え話をまじえてお話しいただいた。

これで論註上巻を全て読み終えたこととなるが、あらためて教行信証への引用の多さを感じる。これから下巻を学んでいくにあたり、それぞれの課題のもつ意味を意識しながら、読みすすめていかなければならないと感じた。



(第2組 西教寺 竹津篤義 記)

◆真宗に学ぶつどい◆同朋会推進部門

去る7月20日(木)に、第3回目の『真宗に学ぶ集い』が、瓜生崇氏(京都教区玄照寺住職)を講師に開催された。最終回である今回は「死後の救い、今の救い」のテーマで講義をいただいた。

講師は、二河白道の譬えから「水の河は欲の心、火の河は怒りの心。ここに突き当たるのは、私が私の思い通りに生きたいという都合、思いによって突き当たる。私の都合で私の人生を生きていこうとして、それが満たされないから怒りや愚痴の心が出てくる。人は、仏法を聞いても私の都合でしか生きていけない、私の思いを超えることはできない。白道が、火の河、水の河を貫くとは、私の思いを貫く南無阿弥陀仏という真実の言葉に出会うこと。でも、親鸞聖人は、その出遇いによって浄土に行って仏になれる、自分が納得をして理解をして疑いもなくその白い道を歩んでいけるかといえば、そうではないとおっしゃる。私の前に来ている白い道とは仏様の願い、それを踏みつけて生きる。今の救いとは、仏の願いを踏みつけて生きるということ、私の思いを超えられないままを生きるということ。そして、命が途切れた時、浄土に往生して仏になる。その浄土とはどういうところか、浄土へ行くことがはっきりするのか、そういうことは問題ではなくなる、これが死後の救い。しかし、救いというが、救いというところから私が解放される、救われたいという思いの中で何とかしようと思っていたことが破られる。私の救い、私の思い、これが一番深いところにある迷いであり、これを常に破っていく願いに出遇っていく、それ以外で私は何も変わらない。これが今の救い、死後の救いということ」だと話された。

各回 50～60 名を超える参加者があり、今回のテーマ、内容についての関心の高さがうかがえる。今後もこの研修会が、現代の課題に応じた内容となるよう、担当部門にて検討していきたい。



◆てらカレ部-あみだ食堂-◆時代社会部門

去る7月4日(火)・18日(火)にてらカレ部-あみだ食堂が開催された。7日は悪天候もあり、子どもたちの参加はなかったが、18日は以前の参加者を含め、8名の中学生の参加があった。当日は茄子、ズッキーニ、パプリカなどを入れた夏野菜カレーが振る舞われた。また、スタッフともオセロをしたりして交流を深めていた。子どもたちからは「とてもおいしかった」「また来たい」との感想が寄せられた。

※お詫びと訂正

先月号教区通信掲載の大無量寿経講義の記事の中で「聞光学舎」とあるのは「相応学舎」の誤りでしたのでお詫びして訂正いたします。

本山・教区事務についてのご連絡

◇能登教務所教区雇員(非常勤・アルバイト)の募集について◇

このたび、能登教務所に勤務していただく教区雇員(非常勤・アルバイト)の方を1名を募集いたします。詳細は別紙募集要項をご参照ください。

◇事務休暇◇

下記期間、教務所事務休暇(お盆休暇)といたしますのでご承知ください。

期 日 8月14日(月)から16日(水)まで

緊急連絡先 090-5685-5611 (教務所携帯電話)

◇宗議会議員選挙有権者名簿の縦覧について◇

7月15日(土)～8月20日(日)まで、教務所において宗議会議員選挙有権者名簿の縦覧をいたしておりますのでご承知ください。(ただし、土日祝日や事務休暇の日は縦覧できません。)

◇夏休み!能登で遊ぼう2017の開催及び支援金・物資の協力依頼◇

今年は、8月19日(土)～21日(月)【2泊3日】の日程で、昨年夏に引き続き、石川県健康の森を会場にて、5家族程度の参加を予定しております。これまでと同様に50万円程の必要経費を見込んでおり、今後の災害支援活動を含め、引き続き皆様のご支援が必要となっております。

つきましては、開催趣旨にご賛同賜り、支援金勧募にご協力くださいますようお願い申し上げます。(現金で能登教務所までご持参いただくか、下記郵便振替口座へご入金ください)

また、参加者用の食材(玉ねぎ・じゃがいも・そうめん・お米)の提供にご協力をお願いします。(必ず事前に教務所までご連絡ください。)

郵便振替 口座番号：00710 - 5-3866 口座名義 真宗大谷派能登教務所
※通信欄に必ず「災害ボランティア支援金」と明記してください。

◇所轄庁への法人備え付け書類(写)の提出について◇

宗教法人法により、各寺院(法人)は毎会計年度終了後4ヵ月以内に備え付け書類(役員名簿・財産目録等)の写を県庁に提出することとなっております。

また、上記書類の提出を怠りますと、過料に処せられる(最高10万円)場合があります。各法人にあっては、法令及び規則に基づき適切に事務処理ください。

◇熊本地震救援金現況◇

能登教区救援金現況 **4,020,460円** (7月27日現在)

内訳	金額
・教区内救援金(寺院)	3,180,474円
・教区内救援金(団体・個人等)	539,986円
・教区救援金会計からの拠出	300,000円

全額を宗派救援金口座へ送金

引き続き、救援金勧募にご協力くださいますようお願いいたします。

救援金受付口座

<郵便振替口座>00710-5-3866

<加入者名>真宗大谷派能登教務所

※通信欄に必ず「熊本地震災害救援金」と明記してください

◇敬弔◇(教区通信7月号 掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第14組	正永寺	前坊守	大久保 隆子	2017年6月24日
第5組	正光寺	前坊守	畠山 ヤエ	2017年7月3日
第13組	正福寺	前住職	生實 昭	2017年7月20日
第12組	明傳寺	住職	松山 常照	2017年7月21日

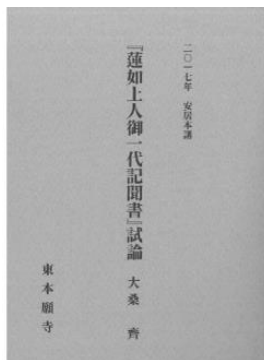
◇本山經常費完納寺院◇(2017.6.1~6.30迄)

2016年度本山經常費をご完納いただき、有難うございました。
ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第1組	性善寺	泉福寺	光西寺	鵜川組	光樂寺		
第2組	本泉寺支坊	明圓寺	成正寺	穴水組	西福寺		
	專隆寺			第10組	乘光寺	光行寺	法融寺
第3浜方組	淨真寺			第11組	西方寺		
第3山方組	誓傳寺	徳満寺		第12組	徳照寺	長善寺	
第4組	善照寺	本隆寺		第13組	本龍寺	長福寺	養泉寺
第7組	正圓寺	照念寺	淨願寺		正願寺		
	圓龍寺	淨明寺		第14組	正覺寺	蓮光寺	常光寺
第8組	長榮寺	淨慶寺	正樂寺		忍性寺	徳生寺	
	徳寶寺	長光寺	光顯寺				

◇おすすめ出版物の紹介◇

2017年安居本講 『蓮如上人御一代記聞書』試論



当派における安居は、享保元(1716)年、東本願寺「学寮」の初代講師である光遠院恵空が『大無量寿経』を講じたことがそのはじまりとされています。言うまでもなく、安居は本来、雨期の三ヵ月間に釈尊の教説を反復聞思する機会であり、その伝統を継承する夏安居が、当派においては、江戸時代に「学寮」という形をとって制度化されました。

その意味で安居は、宗門学事の最高峰である「学寮」における研究・講義を象徴する研鑽の場として、現在にいたるまで伝統されてきました。(真宗 2017年4月号より抜粋) 《A5版/264ページ/3,456円》

※本年の秋安居は、著者である大桑齊先生をお迎えし開講いたします。ぜひご参加ください。

又、次講講本『後世物語聞書』聴記(木越 康 著/3,024円)も発行されています。

※この教区通信は済美精舎ホームページより PDF ファイルでダウンロードすることができます。適宜ご活用ください。

能登教区教化テーマ

ほとけさまに会いにきたいのち、今ともに生きよう

能登教区教化スローガン

一人一人が親鸞聖人に向き合う生活を

済美精舎ホームページアドレス

<http://notokyouku.sakura.ne.jp>